

Jabber クライアントで SAML SSO を有効にする設定例

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

はじめに

このドキュメントでは、Security Assertion Markup Language (SAML) シングル サインオン (SSO) 用に Cisco Jabber Client と インフラストラクチャ サーバを設定する方法について説明します。

前提条件

Cisco Unified Communications Manager(CUCM)IM and Presence、Cisco Unity Connection(UCXN)、CUCMなどのインフラストラクチャサーバをJabberユーザ用にプロビジョニングし、基本的なJabberクライアント設定を行う必要があります。

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CUCM IM and Presenceバージョン10.5(1)以降
- UCXNバージョン10.5(1)以降
- CUCM 10.5(1) 以降
- Cisco Jabberクライアントバージョン10.5

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始していま

す。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

ネットワーク図

1. Webブラウザで証明書を検証できるように、すべてのサーバに証明書を展開します。そうしないと、無効な証明書に関する警告メッセージがユーザに表示されます。証明書の検証の詳細については、「[証明書の検証](#)」を参照してください。
2. クライアントでSAML SSOのサービスディスカバリを実行します。クライアントは、標準のサービスディスカバリを使用して、クライアントでSAML SSOを有効にします。ServicesDomain、VoiceServicesDomain、およびServiceDiscoveryExcludedServicesの設定パラメータを使用してサービス検出を有効にします。

サービスディスカバリをイネーブルにする方法についての詳細は、『[クライアントがサービスを検出する方法](#)』を参照してください。

3. 電話サービスでSSOのJabberの使用を有効にするには、『[Unified Communications Managerバージョン10.5のSAML SSOの設定例](#)』を参照してください。
4. IM機能でSSOの使用をJabberで有効にするには、『[Unified Communications Managerバージョン10.5のSAML SSOの設定例](#)』を参照してください。
5. ボイスメールでSSOをJabberで使用できるようにするには、「[Unity Connectionバージョン10.5 SAML SSOの設定例](#)」を参照してください。
6. 自動ログイン用にクライアントマシンを設定する（Jabber for Windowsのみ）には、「[Kerberos認証を使用したSAML SSOのセットアップの設定例](#)」を参照してください
7. CUCMおよびIMPでSSOを有効にすると、デフォルトですべてのJabberユーザがSSOを使用してサインインします。管理者は、特定のユーザがSSOを使用せずにJabberのユーザ名とパスワードでサインインできるように、これをユーザごとに変更できます。JabberユーザのSSOを無効にするには、SSO_Enabledパラメータの値をFALSEに設定します。

ユーザに電子メールアドレスの入力を求めないようにJabberを設定している場合、ユーザがJabberに最初にサインインするのは非SSOである可能性があります。一部の導入では、ServicesDomainSsoEmailPromptパラメータをONに設定する必要があります。これにより、初めてのSSOサインインの実行に必要な情報がJabberに提供されます。ユーザが以前にJabberにサインインした場合、必要な情報が利用可能であるため、このプロンプトは必要ありません。

確認

Jabber for Windowsを起動すると、クレデンシャルや入力の入力を求めるプロンプトは表示されずに、自動的にログインされます。他のJabberクライアントでは、クレデンシャルの入力が1回だけ求められます。

トラブルシューティング

問題が発生した場合は、Jabber問題レポートを収集し、Cisco Technical Assistance Center(TAC)にお問い合わせください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。